

事業番号	10 04 05	事業改善シート（令和3年度実施事業分）			□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	県営林事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課		
		実施期間	S47 ~	E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現						
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進      4-1 県土の強靱化						


## 1 事業の概要

事業の現状・ 目指す姿 (予算編成時) 及び実施内容	【現状】 県営林の森林資源は確実に成熟しつつあり、今後も間伐等の保育作業を実施しながら更なる資源の充実を図る必要がある。このため、間伐材の販売等を通じて収入の確保を図りつつ、将来の伐期に備えた施業を行っている段階である。また、主伐を見据えた更新のあり方や、J-クレジット制度への対応など、時代の要請に応じた課題に積極的に対応していく。
	【目指す姿】 持続的かつ自立した林業経営を図るため、伐期の多様化や適地適木による多様な森林の造成を行うとともに、新たな課題や要請に対応することにより、「地方林業の経営に模範を示し、もって林業の振興発展に寄与する」という県営林の目的の高度発揮を目指す。
	【実施内容】 県営林の森林整備(主伐・間伐等)、路網整備(林道災害復旧、作業道等の補修及び改良)など

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度 目標値	達成 状況
1	県営林生産物処分材積	m3	5,987	1,414	↓	3,975	↑	24,829	未達成
2	県営林間伐面積	ha	45	29	↓	38	↑	133	未達成
3	J-クレジット販売額	千円	1,249	7,722	↑	1,370	↓	2,000	未達成
4									
5									

事業 コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	R3年度
	予算額	前年度繰越額	28,465	24,374
当初予算額		336,083	379,437	342,943
補正予算額		-103,718	-124,943	-82,663
合計(A)		260,830	278,868	267,667
	うち一般財源	164,518	161,299	160,022
	決算額(B)	227,115	264,664	256,318
	職員数(人)	4.0	4.0	4.0

成果指標及び目標値の設定理由	1.県営林を適切に管理経営するための指標【木材の供給、財源確保】:第10次県営林管理経営計画における目標値に基づき設定 2.県営林を適切に管理経営するための指標【健全な森林の育成】:第10次県営林管理経営計画における目標値に基づき設定 3.県営林を適切に管理経営するための指標【財源確保】:第10次県営林管理経営計画における目標値に基づき設定
達成状況の分析	1.災害により、搬出路が被災したことや、入札不調のため主伐・搬出間伐事業が実施できなかったことから、未達成となった。 2.災害により、搬出路が被災したことや、入札不調のため搬出間伐事業が実施できなかったことから、未達成となった。 3.R2年度の販売量が想定を大きく上回ったため、販売できるクレジットが残りわずかとなり、未達成となった。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 県営林資源の有効な活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・木材をはじめとした県営林から生産される林産物の販売</li> <li>・生産される木材の運搬や県営林を巡視等管理するための路網の開設、改良、補修</li> </ul> </li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">県営林における搬出間伐</div> 
	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 県営林の有する機能や地域の特性に配慮した森林づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林の現況を正確に把握し、必要な森林整備を実施</li> <li>・獣害については、効果的かつ低コストの対策の検討を行いつつ、適正な防除対策を実施</li> </ul> </li> </ul>	

## 2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県営林は、人工林の4割が60年生以上となっており、持続的な森林資源の循環を行うため主伐を計画的に進めていく必要がある。</li> <li>・木材等の販売により財源を確保するため、主伐や搬出間伐を計画したが、入札不調や災害のため計画通り実施できなかった。</li> <li>・過去に主伐を実施した箇所、想定以上の獣害被害により再造林ができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材市場等の状況も見据え、発電用材としての利用など、需要にも応じた県営林材の利用の検討と、効率的に材の搬出を進めるための路網整備の実施により、主伐を計画的に進め「県営林資源の有効な活用」を図る。</li> <li>・搬出事業については、事業体の労務不足に対応できるよう、できる限り工期を長く設定し、早期発注に努める。</li> <li>・伐採地を再造林する際に、適切な獣害対策や現場状況に応じた大苗や低密度植栽の検討など「県営林の有する機能や地域の特性に配慮した森林づくり」を着実に進めていく。</li> </ul>

事業名	県営林事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課
-----	-------	----	-----	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	県営林事業	227,115 千円	264,664 千円	256,318 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	県営林内の森林整備	直接	保育間伐 4団地 10.55ha 搬出間伐・更新伐 2団地 26.96ha 植栽・下刈 4団地 10.35ha 獣害防除 4団地 9.15ha
2	県営林内の路網整備	直接	林道災害復旧 1路線 62m 路網施設改良 5路線 1,529m
3	県営林産物処分	直接	立木及び伐倒木処分 3,975m <sup>3</sup> J-クレジット販売 86t-CO <sub>2</sub>